

令和6年3月29日

横浜市病院協会看護専門学校
学校長 内藤 実 様

学校関係者評価委員会
委員長 荒川 眞知子

令和5年度 学校関係者評価委員会報告書(案)

令和5年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- 荒川 眞知子(日本看護学校協議会共済会会長)
- 牛島 品子(横浜市南部病院 看護部長)
- 吉楽 初美(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター副病院長兼看護部長)
- 望月 久乃(本校後援会 理事)
- 富樫 由香里(第2回生 卒業生)
- 佐藤 町子(第1回生 卒業生)

2 学校関係者評価委委員会の開催状況

第1回委員会 令和5年11月16日(木)

第2回委員会 令和6年2月8日(木)

3 学校関係者委員会報告

- (1) 総括的評価について
- (2) 各評価項目について
- (3) その他

以上

令和5年度 学校関係者評価委員会報告書

(1) 総括的評価について

令和2年度より「高等教育の修学支援新制度」の対象校となることを機に、自己点検・自己評価の項目を見直し、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構「学校評価ハンドブック 専門学校等評価基準 Ver.4.0」により、小項目 65 項目のうち本校に該当する小項目 62 項目(大項目 10 項目、中項目 37 項目)について点検・評価を実施した。

4年度の総合評価は、昨年度と同様に「3. 6」ポイントで、ほぼ適切に運営できているという評価となった。評価に関しては、3年度と比較すると、62項目中、プラスが29項目、マイナスが16項目となった。

「教育理念・目的・育成人材像」については、「教育理念」「教育目的」「教育目標」を教職員の執務室内に掲示し、常に意識し、行動するように周知を図っている。

「学校運営」については、学年主任制度を5年度より導入する方向を打ち出した。また、5年度より、職員の給与等に関する規程を大幅に改正するために教員に周知を図った。

「教育活動」については、キャリア教育について0. 3ポイント増えたが、「授業評価」「成績評価」で0. 2ポイント減ったとともに、「教員確保」について、年度途中で常勤職員が退職したことにより、非常勤職員での対応になったこともあり、0. 4ポイント減った。

「学習成果」については、3年度の看護師国家試験合格率が95%(「自己評価・自己採点」実施時点は、4年度発表前)であったことで、0. 2ポイント減ったと考えられる。

「学生支援」については、「学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか」が、提携している病院の寮を用意しているが、全項目の中で最低の評価となった。

「教育環境」については、3年度の老朽化調査及び中長期保全計画策定に基づいて、4年度から設備改修等工事を実施していることから、0. 2ポイント増えた。一方、防災について、コロナ禍で、全校による避難場所までの大規模訓練が実施できていないことなどで、0. 2ポイント減った。

「学生の募集と受け入れ」については、受験者数について、3年度とあまり変わらない状況であり、倍率2倍を確保できていない状況となっている。

「財務」及び「法令等の遵守」については、適正な学校運営と個人情報保護について0. 3ポイント増えた。

「社会貢献・地域貢献」については、新型コロナ対応で、港南福祉保健センターの支援を学生が行ったほか、新カリキュラムによる「地域と暮らし実習」などで地域や社会福祉施設や団体とのつながりが広がっている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が3年目となり、臨地実習を受け入れていただいている、病院、施設等のご協力により、ほぼ予定通り実施できた。講義も、オンライン授業という方法が加わったことで、状況に合わせた多様な授業を実施できるようになり、適切な教育ができる環境になっている。

4年度における取組みとしては、旧カリキュラムと新カリキュラムが重なっている状況で、学生に混乱がないよう進めている。同時に、IT の推進として、導入したタブレット端末による電子教科書での授業なども定着しつつある。タブレット端末を導入した効果として、授業のみではなく、学生への連絡や教員の会議においてペーパーレス化が図られている。

看護師の養成については、まずは受験希望者を増やすことにより、質の確保を図るとともに、コロナ禍で現場でも制限がかけられたコミュニケーションの問題や、オンライン授業

等による動きのない学生生活による体力への補強など、実践で活躍できる看護師の養成を目指して、取組んでいく。

コロナ禍において、入学式、戴帽式、卒業式等に、保護者や保証人等の方々の参加がいただけていないことは非常に残念であり、今後、安全な環境になり、状況が改善されることを期待している。

(2) 各評価項目についての意見

I 教育理念・目的・育成人材像

II 学校運営

III 教育活動

・5年度は、定数通り教員数を確保しているが、4年度は年度途中で退職者があったことで非常勤職員により対応した。他機関も教員の確保には苦労していることから、引き続きネットワークを生かすなどにより、安定した体制を維持することを望む。

IV 学修成果

・奨学金を実施している病院も含めて、学生に病院説明会を学校独自で実施していることは、学生の進路選びに有効だと思う。

・病院において、大学卒か看護専門学校卒かでの違いはない。

V 学生支援

・卒業後の学生の動向調査を実施していることは評価できる。関係機関と情報を共有し、学生指導に役立てて欲しい。

・卒業生から在校生に、看護師として働いている現状を話す機会をつくっているのは良い試みだと思う。コロナ禍で臨地実習が少なかった学年には、特に現場の状況が把握できないことから有効になると思う。可能であればネットで配信できると良い。

・看護専門学校の厳しい3年間をやり遂げて、看護師になって1年で退職してしまう人がいることはとても残念なので、辞めないための支援があると良い。

・今年度病院に入職した看護師の中で退職した職員の傾向として、いきなり退職届を提出したり、退職の専門業者から退職届が送られてきたりと、コミュニケーションが取れず、なぜ退職するのかを把握できないことがある。

・技術は経験で蓄積できる部分があるが、社会人としての常識や学習する姿勢は、学生のうちに身につけて欲しい。

・進級率 1年生97.6%、2年生98.8%、退学率1.3%は、評価できる。教員が一丸となって早期の支援を行うなど、努力していることが結果に結びついていると思う。

・実習等におけるハラスメントの対応について、ガイドラインを作成し、報告と相談体制を整備しているとともに、オリエンテーション等で周知を図っていることは評価できる。

・国家試験では測れない資質の問題として、コミュニケーションスキルの低下が見られる。社会人基礎力をつくるような、実習体験の積み重ねや、学校全体での取り組みが有効。

・1年生の演習に、上級生が患者役として参加するなど、縦の交流の機会が増えることはコミュニケーションスキルを上げるとともに、自分の将来の姿をイメージできる有効な機会と

なる。

VI 教育環境

- ・学校を他機関が利用できる制度は、地域との連携を進め、地域での学校としての役割ができてきて良い試みと思う。
- ・防災訓練、エレベーターの非常用物品の設置等、災害に対する準備ができていることは評価できる。

VII 学生の募集と受入れ

- ・少子化で、絶対数が少なくなる中で看護師になろうとする人を増やし、受験生を確保するためには、いろいろな取組を行う必要がある。
- ・高校生確保、社会人確保のほかに、一般大学生の確保もある。
- ・社会人経験者は、一大決心をして仕事を辞めて看護学生になることから、経済的な負担及び奨学金等の支援策をわかりやすく説明することや、3 年間のスケジュールや一日の過ごすイメージ等を伝えられると良い。
- ・学校の魅力となる、駅近、学費が安い、国家試験の合格率等をわかりやすく伝えられ工夫が必要。

VIII 財務

IX 法令等の遵守

X 社会貢献・地域貢献

(3) その他

- ・発達障害があると思われる学生への支援について意見交換を行った。

学校では、その学生にあった対応をしながらスキルを身に着けるようかかわっているが、個人差があり、改善されない場合もある。

マニュアル通りにはいかない、患者に合わせた個別の対応をするのが看護師であり、繰り返し同じ場面でスキルを身につけるようにして、その後、対応できるようになることを期待している。一定の基準をクリアして、国家試験に合格すれば就職することができる。令和 6 年4月から法改正があり合理的配慮が必要となった。個人情報の問題があるが、就職に向けて、学校と現場の連携が必要である。

今後の課題として、学校と現場の情報交換等が必要である。

- ・性同一性障害の学生についてはカミングアウトして大きな混乱はなく受け入れられている。

トイレの問題、男女同じデザインのユニフォームにするなどの対応をしている。

しかし、見ていない状況で苦しんでいる人もいると思われることから、今後さらなる対応の検討が必要。

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会（外部委員）次第

日時：令和5年11月16日10時～
場所：4階会議室

1 あいさつ

2 報 告

(1) 学校の現状について

ア 令和5年度入学試験について資料1

イ 令和4年度卒業生について資料2

(2) 自己評価報告書について資料3

3 その他

【次回の予定】

日 時：令和6年2月8日（木）14時～

場 所：横浜市病院協会看護専門学校 4階 会議室

令和6年度入学者の入学試験状況等について

1 学校募集要項等の送付について

(): 昨年度

送付先	県内高校	県外高校	県内大学	予備校等	病院、施設等	計
件数	136校	10校	27校	27校	257か所	457(472)

※県内高校(含む指定校29校、一般107校)

※老健147、病院105、ハローワーク中央、ナースセンター、ひとり親サポートよこはま、男女共同参画あざみ野等

2 学校訪問の実施について

訪問先	指定校	指定校以外	本校で実施した高校教諭を対象にした学校説明会	計
5年度	19校	3校	5校	27校
4年度	22校	2校	10校	34校

3 学校説明会&オープンキャンパス等の実施について

(1) 学校説明会&オープンキャンパス

()内は昨年度実績

(人)

回数	開催日時	参加者数	高校生	大学生※1	社会人※2	保護者
1	6月10日(土) 午前10時～	49 (66)	25	1	7	16
2	6月24日(土) 午前10時～	46 (57)	20	2	7	17
3	7月22日(土) 午前10時～	83 (69)	40	1	13	29
4	7月22日(土) 午後1時30分～	54 (60)	25	1	8	20
5	8月26日(土) 午前10時～	87 (53)	44	1	15	27
6	9月23日(祝・土) 午前10時～	35 (61)	19	0	4	12
7	11月11日(土) 午前10時～	24 (28)	11	1	2	10
個別	6月7日(水) ～	9 (23)	2	0	4	3
計		387 (417)	186	7	60	134

(2) オンライン学校説明会

(人)

回数	開催日時	参加者数
1	7月14日(金) 午後6時30分～	7 (12)
2	9月15日(金) 午後6時30分～	3 (22)
3	10月13日(金) 午後6時30分～	2 (11)
計		12 (45)

4 入学試験出願者数について

(1) 特別入学試験

(人)

試 験 日			高校生(指定)	高校生(公募)	学士	社会人
10月21日 (土)	出願者数	72	21	28	2	21
	受験者数	71	21	28	1	21
	入学予定者数	62	21	25	1	15
R5年度	出願者数	87	22	17	3	45
	受験者数	77	22	17	1	37
	入学者数	59	22	15	0	22

(2) 一般入学試験 I 期

(人)

試 験 日		人 数
11月25日 (土)	出願者数	
	受験者数	
	入学予定者数	
R5年度	出願者数	40
	受験者数	37
	入学者数	16

(3) 一般入学試験 II 期

(人)

試 験 日		人 数
6年2月3日 (土)	出願者数	
	受 験 者	
	入学予定者数	
R5年度	出願者数	13
	受験者数	11
	入学者数	5

令和4年度卒業生の状況について

1 第112回看護師国家試験の状況について ()は全国(厚生労働省)

	出願者	受験者	合格者	合格率
新卒者	75人 (59,290人)	75人 (58,911人)	74人 (56,276人)	98.7% (95.5%)
既卒者	4人 (5,414人)	4人 (5,140人)	2人 (1,876人)	50% (36.5%)
合 計	79人 (64,704人)	79人 (64,051人)	76人 (58,152人)	96.2% (90.8%)

2 看護師就職状況(令和5年3月31日現在)

卒業生	市内	市外		進学	その他
		県内	県外		
75人	72	0人	0人	1人	2人

【横浜市内】

済生会横浜市東部病院(4)、汐田総合病院(4)、横浜鶴見リハビリテーション病院(1)、
 横浜市立市民病院(3)、けいゆう病院(1)、横浜市立みなと赤十字病院(2)、佐藤病院(1)
 神奈川県立こども医療センター(1)、済生会南部病院(4)、秋山脳神経外科病院(1)、
 聖隷横浜病院(1)、イムス横浜狩場脳神経外科病院(3)、磯子中央病院(1)、
 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院(3)、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター(2)、
 済生会若草病院(2)、横浜南共済病院(5)、横浜市立大学附属病院(1)、
 神奈川県立循環器呼吸器病センター(1)、金沢病院(2)、横浜なみきリハビリテーション病院(2)
 菊名記念病院(2)、横浜労災病院(1)、横浜新緑総合病院(1)、横浜医療センター(2)、
 医療生協かながわ生活協同組合戸塚病院(1)、戸塚共立第二病院(2)、
 イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院(5)、横浜栄共済病院(4)、
 国際親善総合病院(3)、横浜相原病院(1)、神奈川県立がんセンター(1)、関東病院(3)、
 横浜田園都市病院(1)、ナースの家すすきの(1)

【進学】

仙台医療センター附属仙台看護助産学校(1)

【その他】

自衛隊(1)

令和4年度

自己評価報告書

(概要)

令和5年3月

横浜市病院協会看護専門学校

I 学校の現況

本校は、横浜市内の約80%の病院が加盟する、公益社団法人横浜市病院協会が、平成7年4月に横浜の医療ニーズに対応できる質の高い看護師を育てるために設立した3年課程の看護専門学校です。

高度医療に対応した知識・技術の獲得と豊かな人間性を育むことを大切にし、1,800人以上の優秀な人材を横浜市内を中心とした医療現場に送り出しています。

教育課程の3分の1を占める臨地実習は、横浜市内の高度救命救急センター等高水準の医療・看護を実践している病院や、地域において中核的な役割を担っている病院、在宅医療を支える訪問看護ステーションなど充実した施設に恵まれています。

1学年80名 2クラスで、総数240名となっています。令和4年度卒業生の看護師国家試験合格率は98.8%で、病院に就職した全ての卒業生が横浜市内に就職しています。

II 基本方針

(1) 教育理念

地域のニーズに対応し、地域住民の保健・医療・福祉の向上に貢献することはもとより、人との関わりを大切にし、あらゆる人々の健康と幸福のために援助できる豊かな人間性と、行動力を備えた看護師を育成します。

(2) 教育目標

- 1 人間を身体的、精神的、社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を身につけている。
- 2 生命の尊さを認識し、倫理に基づいて行動する力を身につけている。
- 3 多様な価値観を認め、援助的人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につけている。
- 4 科学的根拠に基づいた、看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を身につけている。
- 5 健康の状態に応じて、看護を実践するために必要な基礎的能力を身につけている。
- 6 地域共生社会における看護職の役割を理解し、多職種と協働するための基礎的能力を身につけている。
- 7 看護専門職としての資質向上を図るために、継続して自己研鑽する力を身につけている。

(3) 本校が求める学生像

- 1 人に対する関心や思いやりを有している人。
- 2 他者との人間関係を築くための基礎的なコミュニケーション能力を有している人。
- 3 看護を学ぶための基礎学力をもち、自ら積極的に学ぶ姿勢・能力を有している人。
- 4 看護職として、横浜市の保健・医療・福祉に貢献したいという意志を有している人。

III 自己評価について

- 1 実施時期 令和5年2～3月
- 2 実施対象 教職員 24名（教員19名 事務職員等 5名）
- 3 実施内容

「学校評価ハンドブック（専門学校等評価基準ver.4.0）」による
（特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構）

＜大項目＞

- 1 教育理念・目標・育成人材像
- 2 学校運営
- 3 教育活動
- 4 学修成果
- 5 学生支援
- 6 教育環境
- 7 学生の募集と受入れ
- 8 財務
- 9 法令等の遵守
- 10 社会貢献・地域貢献

IV 自己評価結果(評価基準:不適切・・・1、やや不適切・・・2、ほぼ適切・・・3、適切・・・4)

【経過】

平成16年に文部科学省によって専修学校設置基準等が改正され、自己点検・自己評価を行い、その結果を公表する努力義務が課せられました。

本校においては、校内に「自己点検・自己評価委員会」を設置し、17年に学生を、18年に教職員を対象にアンケートを実施し、教育目的・教育目標にそった教育活動がなされているか、点検・評価を試みました。

20年3月に「看護教育自己評価指針」を基に本校独自の調査項目を設定し、点検・評価を行いました。

23年3月に「看護師養成所の運営に関する指導要領の一部改正」により、自己評価が義務化されました。本校は、23・24年に評価委員会組織を再編し点検・評価に取り組み、その成果として第三次報告として「学校評価報告書 第1号」を25年5月に刊行しました。

第四次報告から明らかにされた改善点を意識して取り組みを重ねて、検討組織を「学校評価委員会」に改名し、点検・評価活動の成果として、第五次報告として「学校評価報告書 第2号」を29年7月に刊行しました。

そして、令和2年度に、初めて外部委員を招いての「学校関係者評価委員会」を開催し、自己点検・自己評価に基づき検討を行っていただき「自己評価報告書」をまとめ公表しました。3年度においては、コロナ禍のため、書面での開催となりましたが、各委員からのご意見をいただき、まとめたものを報告書として公表しました。4年度も、自己点検・自己評価を実施し、外部委員からのご意見をいただき、適正な学校運営を図ってまいります。

【総括と課題】

2年度より「高等教育の修学支援新制度」の対象校となることを機に、自己点検・自己評価の項目を見直し、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構「学校評価ハンドブック 専門学校等評価基準Ver.4.0」により、小項目65項目のうち本校に該当する小項目62項目(大項目10項目、中項目37項目)について点検・評価を実施しました。

4年度の総合評価は、昨年度と同様に「3. 6」ポイントで、ほぼ適切に運営できているという評価となりました。評価に関しては、3年度と比較すると、62項目中、プラスが29項目、マイナスが16項目となりました。

「教育理念・目的・育成人材像」については、「教育理念」「教育目的」「教育目標」を教職員の執務室内に掲示し、常に意識し、行動するように周知を図っています。

「学校運営」については、学年主任制度を5年度より導入する方向を打ち出しました。また、5年度より、職員の給与等に関する規程を大幅に改正するために教員に周知を図りました。

「教育活動」については、キャリア教育について0. 3ポイント増えましたが、「授業評価」「成績評価」で0. 2ポイント減ったとともに、「教員確保」について、年度途中で常勤職員が退職したことに

より、非常勤職員での対応になったこともあり、0.4ポイント減りました。

「学習成果」については、3年度の看護師国家試験合格率が95%（「自己評価・自己採点」実施時点は、4年度発表前）であったことで、0.2ポイント減ったと考えられます。

「学生支援」については、「学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか」が、提携している病院の寮を用意していますが、最低の評価となりました。

「教育環境」については、3年度の老朽化調査及び中長期保全計画策定に基づいて、4年度から設備改修等工事を実施していることから、0.2ポイント増えました。一方、防災について、コロナ禍で、全校による避難場所までの大規模訓練が実施できていないことなどで、0.2ポイント減りました。

「学生の募集と受け入れ」については、受験者数について、3年度とあまり変わらない状況ではあり、倍率2倍を確保できていない状況となっています。

「財務」及び「法令等の遵守」については、適正な学校運営と個人情報保護について0.3ポイント増えました。

「社会貢献・地域貢献」については、新型コロナ対応で、港南福祉保健センターの支援を学生が行ったほか、新カリによる「地域と暮らし実習」などで地域や社会福祉施設や団体とのつながりが広がっています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が3年目となり、臨地実習を受け入れていただいている、病院、施設等のご協力により、ほぼ予定通り、実施できました。講義も、オンライン授業という方法が加わったことで、状況に合わせた、多様な授業を実施できるようになり、適切な教育ができる環境になっています。

【今後の改善方策】

4年度における取組みとしては、旧カリキュラムと新カリキュラムが重なっている状況で、学生に混乱がないよう進めています。同時に、ITの推進として、導入したタブレット端末による電子教科書での授業なども定着しつつあります。タブレット端末を導入した効果として、授業のみではなく、学生への連絡や教員の会議においてペーパーレス化が図られています。

看護師の養成については、まずは受験希望者を増やすことにより、質の確保を図るとともに、コロナ禍で現場でも制限がかけられたコミュニケーションの問題や、オンライン授業等による動きのない学生生活による体力への補強など、実践で活躍できる看護師の養成を目指して、取組んでいきます。

コロナ禍において、入学式、戴帽式、卒業式等に、保護者や保証人等の方々の参加がいただけていないことは非常に残念であり、今後、安全な環境になり、状況が改善されることを期待しています。

1 教育理念・目標・育成人材像

【総括(実施内容)と課題】

教育理念は、「学生便覧」に明記し、学生全員に配付し周知を図っています。

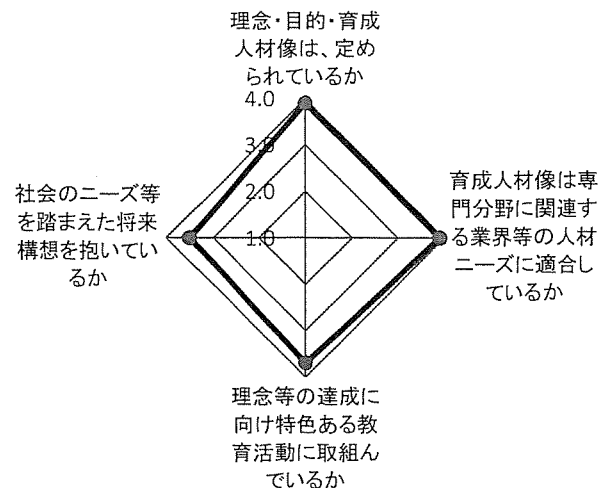
令和4年度からのカリキュラム改正に伴い、「教育ビジョン」「教育理念」「教育目的」「育てたい卒業生像」「教育目標」の見直しを行い、「教育ビジョン」を「アドミッションポリシー」「ディプロマポリシー」「カリキュラムポリシー」を示しました。

大 項 目	4年度	3年度	差引
教育理念・目的・育成人材像	3.8	3.7	0.1
学校運営	3.7	3.5	0.2
教育活動	3.7	3.6	0.1
学修成果	3.5	3.6	△ 0.1
学生支援	3.4	3.4	0.0
教育環境	3.3	3.3	0.0
学生の募集と受け入れ	3.7	3.7	0.0
財務	3.7	3.6	0.1
法令等の遵守	4.0	3.9	0.1
社会貢献・地域貢献	4.0	4.0	0.0
計	3.6	3.6	0.0

新カリキュラムは、4年度の入学生から適用したので、6年度までは新旧カリキュラムの混在期間となります。

大項目の評価としては、「3. 7」ポイントから「3. 8」ポイントに上がりました。新カリキュラムの実施に向けて、育成人材像や教育活動の検討を行ったことによる影響と考えます。

今後、新カリキュラムで見直した内容を実践的に反映していけるかが課題です。



【今後の改善方策】

社会の動向や保健・医療・福祉のニーズの変化に対応したカリキュラム改正の背景と目的を踏まえ、新カリキュラムを円滑に実践していくために、教職員の共通理解と情報共有を図ります。また、多職種連携など新たな学習方法が始まるため、学校から地域への情報発信などの具体策を検討しながら取り組んでいきます。

新カリキュラムで「地域と暮らし」において、医療も介護も必要な人が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために何が必要であるか考える教育に取り組んでいきます。

中項目	小項目(指標)	評価
理念・目的・育成人材像	1 理念・目的・人材育成像は定められているか	3.9
	2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3.9
	3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.7
	4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3.5
平均		3.8

2 学校運営

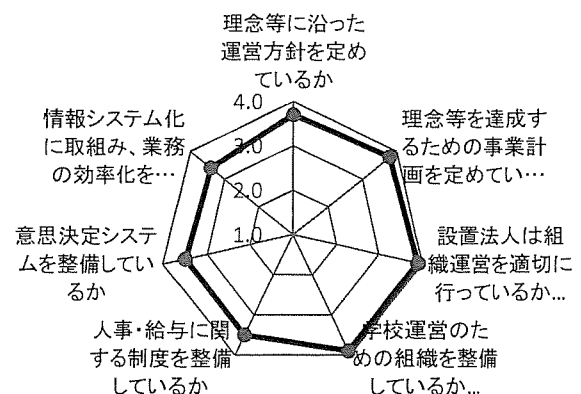
【総括(実施内容)と課題】

本校の運営は、市内病院の約8割(105か所)が加盟している公益社団法人が行い、質の高い看護を提供する看護師を養成し、市内医療機関に就職することを目的としています。このことは、本校受験希望者に配付している「学生募集要項」に明記しています。結果として、市内の医療機関への就職率は約9割となっています。

大項目の評価としては、昨年度から「0. 2」ポイント増えて「3. 7」ポイントとなりました。

評価については、5年度に予定している「職員の給与規則改正」と「学年主任制度の導入」による運営組織の見直しなどが影響していると考えます。職員の給与規則改正については、平成16年以降給与表が見直されていなく長年の課題となっていたことから、関連の団体・組織に合わせた見直しを予定しています。また、教員の組織については、係長、主任について見直しを行い、給与改正と合わせて、役割を明確にします。引き続き、運営・組織については、役割を明確にし、意思決定と合わせて、円滑に組織運営ができるよう進めていく必要があります。

情報システムにおいて、タブレット端末による電子教科書の導入に伴い、Wi-Fi環境の整備等



を行ったことで、コロナ禍で整備してきたネットワーク関連の環境整備が更に進みました。今後は更に、パソコンやネットワーク環境の安定した稼働を確保することが課題と考えます。

【今後の改善方策】

学校運営に関する全体的な評価は、昨年度から上がっていますが、迅速な意思決定や円滑な学校運営ができるように、運営組織の見直しや、改正されていない規則・規定等の社会情勢にあった内容となっているかの見直しが必要と考えます。

情報システムの実施については、PCの更新やネットワーク環境の整備を進めてきましたが、安定稼働とともに、今後も、学生の効率的・効果的な学習が可能ないように進めていく必要があります。

中項目	小項目(指標)	評価
運営方針	5 理念等に沿った運営方針を定めているか	3.7
事業計画	6 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.8
運営組織	7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.9
	8 学校運営のための組織を整備しているか	3.9
人事・給与制度	9 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.5
意思決定システム	10 意思決定システムを整備しているか	3.5
情報システム	11 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	3.4
平 均		3.7

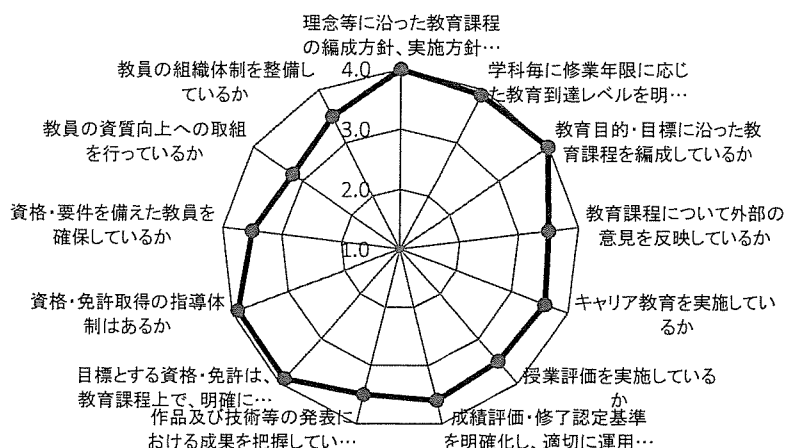
3 教育活動

【総括(実施内容)と課題】

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、本年度も教育活動に影響がありました。臨地実習の受け入れ中止、人数制限、時間短縮などの制限がありましたが、予定の96%を実施することができました。学内では、時差登校やオンライン授業(感染による出席停止者含む)により全ての教育課程を修了することができました。

4年度入学の1年生から新カリキュラムにより、地域活動をするための基礎的能力及び臨床判断能力、多職種連携の能力育成を踏まえた、教育課程を実施しました。1年生は、新カリキュラムによる地域の生活・暮らしを広く知り、そこで暮らす人々への視点を広げることで手ごたえを得ることができました。新旧カリキュラムが混在する期間となるので、学生の学習活動が円滑に行われるように情報共有や連携を図りながら取り組みました。

教育活動の評価としては、大項目としては「0.1」ポイント上がり「3.7」ポイントとなりました。1, 2年生を対象に、キャリア支援講座を計4回開催するとともに、「ようこそ先輩」を開催しました。また、



実習や専門分野・統合科目で発表会を実施しました。

年度途中で退職した教員について「非常勤職員」での対応を行うなど、職員体制が常勤で確保できなかったことへの評価が「0.4」ポイント減ったことと考えられます。常勤職員の確保は、確実に実施していくべき課題と考えます。また、授業評価、成績評価・終了認定についても「0.2」ポイント減り、実施内容を検証する必要があると考えます。

【今後の改善方策】

5年度は、「多職種と連携する力をつける」ための新設科目がスタートし、専門科目としても「臨床判断能力強化」に向けた教科の学習が積み重なっていきます。引き続き、新カリキュラムにおける教科目標の達成状況を評価し、効果的にカリキュラムを運営します。また、新旧カリキュラムの狭間にある学生の履修状況を把握し、適切に学修を進められるよう支援します。

教育方法としては、模擬電子カルテ等の新たな教材を活用しシミュレーション教育を充実させます。また、自己学習力を育成すべく能力的学習を推進します。

成績不振者に対する早期の対応策を検討し、国家試験合格率を向上させます。

新型コロナウイルス感染症の状況に応じた対策を講じることにより、学習上の不利益が生じないようにします。

中 項 目	小 項 目 (指 標)	評価
目標の設定	12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4.0
	13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.9
教育方法・評価等	14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4.0
	15 教育課程について外部の意見を反映しているか	3.5
	16 キャリア教育を実施しているか	3.6
	17 授業評価を実施しているか	3.5
成績評価・単位認定等	18 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.6
	19 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.5
資格・免許の取得の指導体制	20 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.9
	21 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.9
教員・教員組織	22 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.5
	23 教員の資質向上への取組を行っているか	3.2
	24 教員の組織体制を整備しているか	3.5
平 均		3.7

4 学修成果

【総括(実施内容)と課題】

看護師国家資格を取得し、地域の保健・医療に貢献できる看護師を養成することが本校の使命であり、合格率は3年度が95%、4年度が98.7%となっていて、市内医療機関への就職率は、3年度は92%、4年度が100%となっています。

卒業時、ディプロマポリシーの達成度の自己評価を実施するとともに、卒業生動向調査により、卒業生の状況把握を行っています。1年以内の離職率は11.1%で全国平均8.2%よりも高い結果と

なっています。就職に向けては、1年生からキャリア教育の一環として、進路ガイダンスを実施し、自分に合った就職先選びができるようにしています。また、横浜市病院協会会員病院による「病院説明会」を実施するとともに、各病院が本校の学生あてに作成した「情報シート」や病院のパンフレットを一堂に把握できるよう校内の情報コーナーを活用して情報提供を行いました。

看護師国家試験合格率が就職率に直結するため、引き続き合格率向上を目指して取り組みます。特に成績不振者への学習支援を強化していきます。

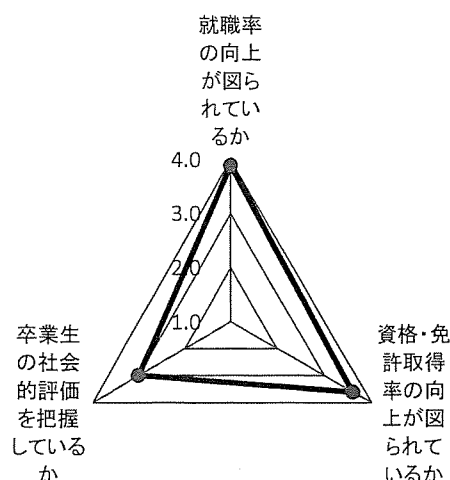
大項目としての評価は、「0.1」ポイント減って「3.5」ポイントとなりましたが、自己評価実施時点では、4年度卒業生の国家試験結果が出ていなかったことから、3年度の結果を受けての評価と考えられます。就職率については、「0.1」ポイント上がって、「3.9」ポイントの評価となっています。

【今後の改善方策】

学校の設立理念である「地域医療に貢献できる看護師の育成」に向けて、就職率を維持できるように、国家試験合格率が100%になるように支援に取り組めます。

入学時の学力・意欲分布を把握するために実施している「基礎力リサーチ」を、引き続き、初年度教育に活用していきます。成績低迷者の早期把握と低迷の原因分析を行い、低学年からの学習支援、国家試験対策を強化します。

卒業時には、ディプロマポリシーの達成度の評価として「卒業生アンケート」「卒業後動向調査」を継続して実施します。



中項目	小項目(指標)		評価
就職率	25	就職率の向上が図られているか	3.9
資格・免許の取得率	26	資格・免許取得率の向上が図られているか	3.6
卒業生の社会的評価	27	卒業生の社会的評価を把握しているか	3.0
平均			3.5

5 学生支援

【総括(実施内容)と課題】

新旧カリキュラムの混合実施とともに、1年生がタブレット端末によるデジタル教科書による授業を実施しましたが、大きなトラブルはなく円滑に進んでいます。

新型コロナウイルス感染症対策については、毎日の健康状態の把握、予防行動の徹底を行うなどを継続するなかで、対面授業を基本とし、状況に応じて、時差登校、オンライン授業等で対応しました。

定期健康診断、4感染症ワクチン接種状況とともに、個々の意思に基づくことであることを前提に、新型コロナワクチン予防接種を、84.8%の学生が3回以上行いました。新型コロナ感染症については、家庭内感染又は経路不明の感染者はありましたが、校内において感染が拡大するなどは確認されませんでした。

学習・学校生活相談、保護者との連携、就職等の進路指導は個別面接等で状況把握、対応を行いました。

その結果として、退学率は1.3%(元年度 4.3%、2年度 2.1%、3年度 2%)であり、進級率

は、1年生97.6%(3年度 92.9%)、2年生98.8%(3年度 97.4%)となっていて、早期に学力、精神面、生活状況等の問題を把握していくことで退学者及び原級留置者の低減を図ることができました。

また、経済的な支援については、横浜市病院協会独自の病院からの奨学金制度の限度額を5年度に向けて月額5万円から7万円に増額するとともに、高等教育修学支援新制度及び専門実践教育給付金制度が利用できる承認を継続して得ています。また、日本学生支援機構を通じて実施した、新型コロナウイルス感染拡大の影響により収入が減った学生への支援金についても、学生に周知を図り実施しました。

評価としては、大項目としては「3.4」ポイントで変化はありませんでしたが、退学率の低減について「0.3」ポイント増え、コロナ禍で活動が自粛せざるを得なかった「保護者との連携」や「卒業生への支援」について各「0.2」ポイント減りました。なお、「学生寮の設置などの生活環境支援体制」については、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター職員宿舎が利用可能となっていますが、本校独自では整備できていないことから「2.7」ポイントと全項目の中で一番低い評価となりました。

【今後の改善方策】

学生が安心して学生生活を送られるように、健康管理、感染症対策に向けた指導と情報提供、環境整備を引続き徹底・強化していきます。

そのうえで、学生が生活・学習上で困ったことなどを自由に相談できるよう、教員、保護者等との連携を図り、精神的な落ち込み、心身の不調などの問題を抱える学生に、早めに対応していきます。

また、3年間、感染症対策でオンライン授業の導入などにより減少してしまった学生間の交流やピアサポートが復活できるようにします。具体的には、自治会活動、委員会活動、クラス活動、クラブ活動等に助言、指導を行います。

中 項 目	小 項 目 (指 標)		評価
就職等進路	28	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.7
中途退学への対応	29	退学率の低減が図られているか	3.7
学生相談	30	学生相談に関する体制を整備しているか	3.5
学生生活	31	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.8
	32	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.9
	33	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	2.7
	34	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.0
保護者との連携	35	保護者との連携体制を構築しているか	3.2
卒業生・社会人	36	卒業生への支援体制を整備しているか	2.9
	37	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.5
平 均			3.4

6 教育環境

【総括(実施内容)と課題】

教育環境の施設・設備については、開校以来28年を越える建物として、3年度に「老朽化調査及び中長期保全計画の策定」を実施しました。その結果、建物に大きな問題はありませんでしたが、設備については、更新・改修等工事が必要との結果を得ました、そのため、4年度から大規模な設備改修等工事を開始しました。

ICT教育の推進については、教育関連のデジタルデバイスの導入を行い、授業や学内実習の向上

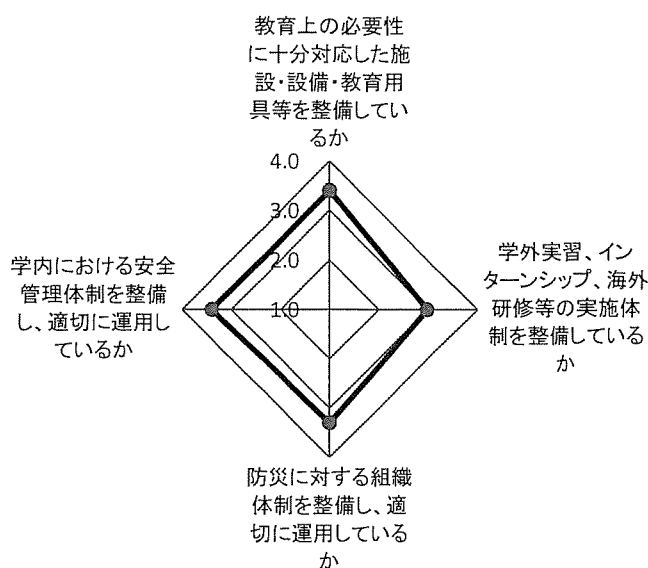
に向けています。

一部のPCの不具合等もありましたが、5年度に情報科学室のPCや教員室の同じラインで運用しているPCのリース期間満了に伴う入替が予定されているため、その際に改善を図っていきます。また、研修会に参加するなど、引き続き、教員の資質向上に向けた取り組みを進めていきます。

教材用具及び図書は、毎年度定期的に調査を実施し、必要な図書を計画的に購入しています。

「防災」については、コロナ禍のため4年度も簡易な訓練を年2回実施し、その際、講義による防災への意識付けを行いました。

評価としては、大項目としては「3. 3」ポイントで昨年度と変わりませんでしたが、設備改修等工事の実施で、施設・設備等が「0. 2」ポイント増えました。防災関連では、簡易な訓練の実施となったため「0. 2」ポイント減りました。



【今後の改善方策】

3年度に実施した、「老朽化調査及び長期保全計画の策定」を基に、継続的に安定した運営ができるように、引き続き設備改修等工事を実施していきます。

ICT教育を進めるために、継続した設備の見直しとオンラインプロジェクト活動の推進を図ります。

また、学内の安全管理の充実に向けて、事故対応マニュアルの作成及び防災備品の管理等、災害時の備えに向けた準備を行います。

中項目	小項目(指標)	評価
施設・設備等	38 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.4
学外実習・インターンシップ等	39 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3.0
防災・安全管理	40 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.3
	41 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.4
平 均		3.3

7 学生の募集と受入れ

【総括(実施内容)と課題】

学生募集に関しては、入試委員会で計画を立て、委員が中心となって募集活動を実施しました。4年度は、5月に開催した高等学校進路指導教員対象の説明会に10校の先生が参加されました。個別の学校訪問は、指定校以外の高校も含めて24校を訪問し、学校説明会は7回開催し、個別の説明を含め417名の方の参加を頂きました。なお、学生も参加するオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、学生の参加は見合わせました。代わりに、参加予定の学生が、学校案内やインタビューを取入れた動画を作成し、学生目線のリアルな学校生活を学校説明会に来られた方にお見せすることができ、大変好評でした。

学校案内や募集要綱については、社会人受験者獲得のために、「ひとり親サポート横浜」「男女共同参画センターアートフォーラムあざみ野」にも置かせていただきました。

入学試験に関しては、筆記及び面接を行い、面接では、一部に構造化面接を取入れ、標準化を図るとともに、合否判定委員会により合格者を決定するなど公平な選抜を実施しています。

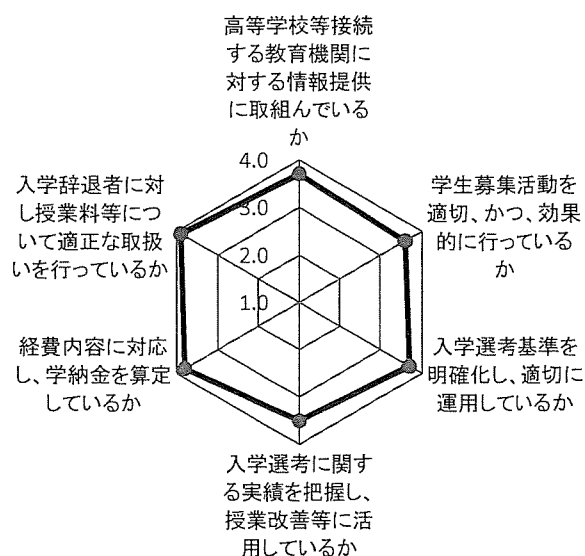
入学金や授業料等については、県内の民間看護学校と比較すると、低額となっていることから適正な水準と考えます。

評価については、昨年度と同様「3.7」ポイントで項目によって変化はありますが、ほぼ適切となっています。

【今後の改善方策】

受験生確保に向けて、引き続きホームページ、個別訪問など更なる工夫を行う必要があります。社会人の受験生にも門戸を広げるために「専門実践教育訓練給付金」制度の対象校であることのアピールや、ハローワークなどの資格取得を目指している窓口への情報提供の拡大を進めていきます。

また、ホームページの充実とともに、SNSでの発信を検討します。



中 項 目		小 項 目 (指 標)	評価
学生募集活動	42	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.7
	43	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3.6
入学選考	44	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.7
	45	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.5
学納金	46	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.8
	47	入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3.9
平 均			3.7

8 財務

【総括(実施内容)と課題】

学校の財務については、法人会計の中で、学校として予算、決算を組み明確にしています。会計処理の適正管理、監査等を実施しています。

学校運営の事業経費については、学生からの入学金、授業料、施設管理費及び神奈川県・横浜市からの補助金等により賄っています。

決算では、現金ベースの単年度の収支では黒字になっています。

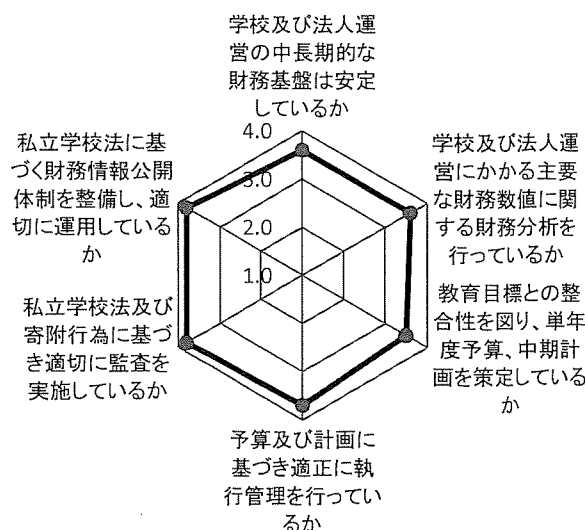
28年を越える施設・設備について、横浜市、神奈川県からの補助を受けて、4年度から設備改修等工事を実施しています。将来的に更に健全な財政運営を行うために、施設・設備の老朽化及び長期保全に対応する目的で、3年度に「学校環境整備積立預金取扱規程」を制定し、施設・設備等の修繕・更新に向けた対策を始めましたが、確実に進めていく必要があります。

評価については、職員会議等で予算・決算等を説明し、共有化を図ったことにより、財務に関する評価は、「0.1」ポイント上がって「3.7」ポイントとなっています。

【今後の改善方策】

少子化が進む中で、新卒者の受験希望者は減少傾向となっています。そのため、看護師を目指す社会人経験者について、様々な課題を明確にし、その対策を組み、看護師志望の方々から選ばれる学校運営を図るなど、定員確保のための取り組みを引続き検討し強化します。

28年を越える施設・設備等の修繕・更新に向けた中長期保全計画を実施できるように、本校として対策を組むとともに、関係機関と調整を行い財源確保を図る必要があります。



中項目	小項目(指標)	評価
財務基盤	48 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.6
	49 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.6
予算・収支計画	50 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.5
	51 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.7
監査	52 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.8
財務情報の公開	53 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.8
平 均		3.7

9 法令等の遵守

【総括(実施内容)と課題】

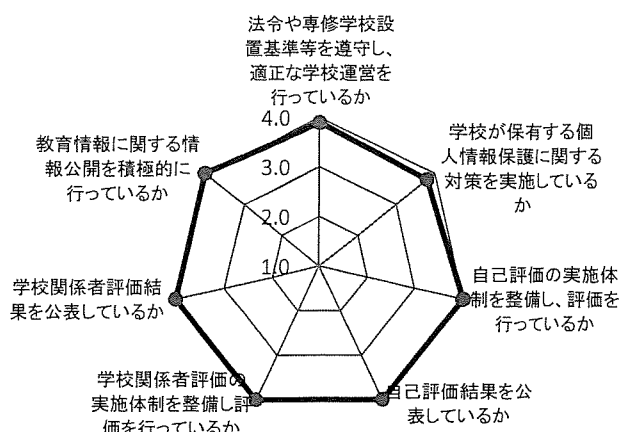
法令や専修学校設置基準を遵守するとともに、法人の事務処理規定に基づいて、適正な学校運営を行っています。

個人情報保護については、2年度に学校として「個人情報保護規定」を制定し運用しています。

また、3年度は、労働施策総合推進法の改正に伴い、協会として「パワーハラスメントの防止に関する規程」を制定し、「育児・看護休業等に関する規程」を改正しました。

学校評価については、内部に学校評価委員会を、外部委員をお招きしての学校関係者評価委員会を設置し、委員会での検討結果を受けて、学校運営の改善をPDCAにより実施しています。

評価については、「関係法令、設置基準等の遵守」「個人情報保護」について「0.3」ポイント増え、「学校の評価」「教育情報の公開」が「4」ポイントの評価結果となり、高い評価となりました。これからも、この評価を維持するために、教職員及び学生が共通の認識をもって、適切な学校運営につなげられるようにしていきます。



【今後の改善方策】

2年度から開始した、外部委員を招いての、「学校関係者評価委員会」及び「学校運営会議」を引き続き開催し、いただいたご意見を踏まえて改善を進めることで、適切な学校運営を推進するとともに、法令等の遵守は無論、学生にとって学びやすい環境を整えていきます。

中項目	小項目(指標)		評価
関係法令、設置基準等の遵守	54	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.9
個人情報保護	55	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.8
学校評価	56	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4.0
	57	自己評価結果を公表しているか	4.0
	58	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0
	59	学校関係者評価結果を公表しているか	4.0
教育情報の公開	60	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4.0
平均			4.0

10 社会貢献・地域貢献

【総括(実施内容)と課題】

新型コロナウイルス感染拡大対策に万全を期しつつ、社会の感染状況を見ながら、港南福祉保健センターのコロナ対応への学生による支援や実習病院の防災訓練に参加するなどを実施しました。また、再開された横浜マラソンの救護ボランティアにも多くの学生が参加しました。

ボランティア部の活動は、6月頃から再開し始め、部員募集を行ったところ、多くの1年生が入部し、新たな活動に取り組み始めています。

地域と暮らし実習に出向いて、地域や社会福祉施設でボランティアのニーズが多くあることを知り、それに応えたいと社会貢献意識の高さが見えました。具体的な活動につなげることが課題となります。

評価としては、昨年度と同様に「4.0」ポイントで高い評価となりました。今後、活動が活発となることが予想されることから、活動状況を公表して肯定的評価を伝えながら教育的関りを進めていく必要があると考えます。

【今後の改善方策】

地域や社会福祉施設等、ボランティアを必要としている状況の把握と情報発信をしながら、社会情勢を見極め可能な活動を進めていきます。

学生の社会・地域貢献意識を更に涵養していくためにも活動状況の発信を行い、活動の輪が拡大するように努めていきます。

中項目	小項目(指標)		評価
社会貢献・地域貢献	61	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.0
ボランティア活動	62	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4.0
平均			4.0

横浜市病院協会看護専門学校 自己点検・自己評価評価項目

※ 評価規準:不適切…1、やや不適切…2、ほぼ適切…3、適切4

R5. 02

大項目	中項目	小項目(指標)	全体		
			小項目ave	大項目ave	中項目ave
I 教育理念・目的・育人人材像	理念・目的・育人人材像	1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	3.9	3.8	3.8
		2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3.9		
		3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.7		
		4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱えているか	3.5		
II 学校運営	運営方針	5 理念等に沿った運営方針を定めているか	3.7	3.7	3.7
		6 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.8		
		7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.9		
		8 学校運営のための組織を整備しているか	3.9		
	人事・給与制度	9 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.5		3.5
		10 意思決定システムを整備しているか	3.5		
		11 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	3.4		
III 教育活動	目標の設定	12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4.0	3.7	4.0
		13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.9		
	教育方法・評価等	14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4.0		3.7
		15 教育課程について外部の意見を反映しているか	3.5		
		16 キャリア教育を実施しているか	3.6		
		17 授業評価を実施しているか	3.5		
	成績評価・単位認定等	18 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.6		3.6
		19 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.5		
	資格・免許の取得の指導体制	20 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.9		3.9
		21 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.9		
	教員・教員組織	22 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.5		3.4
		23 教員の資質向上への取組を行っているか	3.2		
		24 教員の組織体制を整備しているか	3.5		
IV 学修成果	就職率	25 就職率の向上が図られているか	3.9	3.5	3.9
		26 資格・免許取得率の向上が図られているか	3.6		
		27 卒業生の社会的評価を把握しているか	3.0		
V 学生支援	就職等進路	28 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.7	3.4	3.7
		29 退学率の低減が図られているか	3.7		
	学生相談	30 学生相談に関する体制を整備しているか	3.5		3.5
		31 留学生に対する相談体制を整備しているか			
	学生生活	32 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.8		3.4
		33 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.9		
		34 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	2.7		
		35 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.0		
		36 保護者との連携	3.2		
	卒業生・社会人	37 卒業生への支援体制を整備しているか	2.9		3.2
		38 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか			
		39 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.5		
VI 教育環境	施設・設備等	40 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.4	3.3	3.4
		41 学外実習・インターンシップ等	3.0		
	防災・安全管理	42 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.3		3.4
		43 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.4		
VII 学生の募集と受入れ	学生募集活動	44 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.7	3.7	3.7
		45 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3.6		
	入学選考	46 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.7		3.6
		47 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.5		
	学納金	48 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.8		3.9
		49 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3.9		
VIII 財務	財務基盤	50 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.6	3.7	3.6
		51 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.6		
	予算・収支計画	52 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.5		3.6
		53 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.7		
	監査	54 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.8		3.8
		55 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.8		
	財務情報の公開				
IX 法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守	56 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.9	4.0	3.9
		57 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.8		
	学校評価	58 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4.0		4.0
		59 自己評価結果を公表しているか	4.0		
		60 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0		
		61 学校関係者評価結果を公表しているか	4.0		
	教育情報の公開	62 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4.0		4.0
X 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献	63 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.0	4.0	4.0
		64 国際交流に取り組んでいるか			
	ボランティア活動	65 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4.0		4.0
総 計(平均)				3.64	

横浜市病院協会看護専門学校 自己点検・自己評価評価項目

※ 評価基準:不適切…1、やや不適切…2、ほぼ適切…3、適切4

大項目	中項目		小項目(指標)	R5.02	R4.02	差
Ⅰ 教育理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像	1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	3.9	3.9	0.0
		2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合している	3.9	3.8	0.1
		3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.7	3.6	0.1
		4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱えているか	3.5	3.5	0.0
Ⅱ 学校運営	運営方針	5	理念等に沿った運営方針を定めているか	3.7	3.7	0.0
	事業計画	6	理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.8	3.7	0.1
	運営組織	7	設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.9	3.7	0.2
		8	学校運営のための組織を整備しているか	3.9	3.6	0.3
	人事・給与と制度	9	人事・給与に関する制度を整備しているか	3.5	3.3	0.2
	意思決定システム	10	意思決定システムを整備しているか	3.5	3.4	0.1
	情報システム	11	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.4	3.3	0.1
Ⅲ 教育活動	目標の設定	12	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4.0	3.9	0.1
		13	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.9	3.8	0.1
	教育方法・評価等	14	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4.0	3.9	0.1
		15	教育課程について外部の意見を反映しているか	3.5	3.4	0.1
		16	キャリア教育を実施しているか	3.6	3.3	0.3
		17	授業評価を実施しているか	3.5	3.7	▲ 0.2
		成績評価・単位認定等	18	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.6	3.8
	19		作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.5	3.3	0.2
	資格・免許の取得の指導体制	20	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.9	3.8	0.2
		21	資格・免許取得の指導体制はあるか	3.9	3.9	0.0
	教員・教員組織	22	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.5	3.9	▲ 0.4
		23	教員の資質向上への取組を行っているか	3.2	3.2	0.0
		24	教員の組織体制を整備しているか	3.5	3.5	0.0
	Ⅳ 学修成果	就職率	25	就職率の向上が図られているか	3.9	3.8
資格・免許の取得率		26	資格・免許取得率の向上が図られているか	3.6	3.8	▲ 0.2
卒業生の社会的評価		27	卒業生の社会的評価を把握しているか	3.0	3.1	▲ 0.1
Ⅴ 学生支援	就職等進路	28	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.7	3.7	0.0
	中途退学への対応	29	退学率の低減が図られているか	3.7	3.4	0.3
	学生相談	30	学生相談に関する体制を整備しているか	3.5	3.7	▲ 0.2
	学生生活	32	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.8	3.8	0.0
		33	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.9	3.8	0.1
		34	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	2.7	2.8	▲ 0.1
		35	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.0	3.1	▲ 0.1
		36	保護者との連携体制を構築しているか	3.2	3.4	▲ 0.2
	卒業生・社会人	37	卒業生への支援体制を整備しているか	2.9	3.1	▲ 0.2
		39	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.5	3.4	0.1
Ⅵ 教育環境		施設・設備等	40	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.4	3.2
	学外実習・インターンシップ等	41	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3.0	3.1	▲ 0.1
	防災・安全管理	42	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.3	3.5	▲ 0.2
		43	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.4	3.5	▲ 0.1
Ⅶ 学生の募集と受入れ	学生募集活動	44	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.7	3.8	▲ 0.1
		45	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	3.6	3.8	▲ 0.2
	入学選考	46	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.7	3.8	▲ 0.1
		47	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.5	3.5	0.0
	学納金	48	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.8	3.7	0.1
		49	入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	3.9	3.9	0.0
	Ⅷ 財務	財務基盤	50	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.6	3.5
51			学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.6	3.5	0.1
予算・収支計画		52	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.5	3.4	0.1
		53	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.7	3.6	0.1
監査		54	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.8	3.7	0.1
財務情報の公開		55	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.8	3.6	0.2
Ⅸ 法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守	56	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.9	3.6	0.3
		57	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.8	3.5	0.3
	個人情報保護	58	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4.0	4.0	0.0
		59	自己評価結果を公表しているか	4.0	4.0	0.0
		60	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0	4.0	0.0
		61	学校関係者評価結果を公表しているか	4.0	4.0	0.0
	教育情報の公開	62	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4.0	4.0	0.0
		Ⅹ 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献	63	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.0
ボランティア活動	65		学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4.0	4.0	0.0
合 計				3.6	3.6	0.0

自己点検・自己評価評価項目について

令和5年3月

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
Ⅰ 教育理念・目的・育人人材像	理念・目的・育人人材像	1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	理念等の明文化、周知、社会の要請に合わせて見直し、実現のための目標・計画の策定、課程の設置／専門分野の特性が明確	・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい卒業生像を「学生便覧」「学習要綱」等で明文化。 ・学校説明会、入学時、始業時等で周知を図り、本校HP掲載し、情報発信している。 ・4年度に教育ビジョンを3つのポリシー(アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー)として明確化。これに基づきカリキュラム評価を実施。 ・4年度入学試験においてアドミッションポリシーを反映した問題を設定。
		2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	医療業界が求める人材(知識・技術・人間性等)の明確化／医療業界との協力関係がある(実習、採用等)	・医療業界である、市内105病院が会員となっている法人が設置・運営。 ・育てたい学生像を明確化し、科目を設定。 ・実習も含め、医療関係機関等の協力により実施。 ・臨地実習は、20病院、30地域・老健施設と連携。
		3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	特色ある教育活動、実践教育の実施	・理念等の達成に向けた科目の設定。 ・プロジェクト学習・ラベルワークなどの教育方法の採用。 ・新カリで、地域と暮らし実習を開始。
		4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	中期的(3～5年)将来構想の策定／教職員、学生、保護者等への周知	・設立当初から教育理念・教育目標を設定。 ・毎年度、事業計画を策定し周知を図る。
Ⅱ 学校運営	運営方針	5 理念等に沿った運営方針を定めているか	運営方針の策定／教職員等への周知	・教育ビジョン、教育理念、教育目標、育てたい学生像を「学生便覧」「学習要綱」等で周知。入学時ガイダンスで共有化。
	事業計画	6 理念等を達成するための事業計画を定めているか	単年度、中期的事業計画の策定／進捗管理、見直し時期等明確化	・毎年度、事業計画を策定し理事会承認のもと実施に向けて取り組んでいる。
	運営組織	7 設置法人は組織運営を適切に行っているか	理事会、評議会の開催及び議事録の作成	・毎月理事会、常任委員会を開催し、議事録を作成。
		8 学校運営のための組織を整備しているか	事務・教学組織の整備／会議、委員会の設置・開催／規則、規程の整備	・組織体制を明確にし、各種会議・委員会を開催し、学校運営を実施。
	人事・給与制度	9 人事・給与に関する制度を整備しているか	採用に関する規程／採用時の広報／給与、昇任・昇級の規定／人事考課の実施	・令和元年度からMBOを実施。 ・令和2年1月に就業規則の改定。 ・令和5年度に給与規則の改定を実施。
	意思決定システム	10 意思決定システムを整備しているか	教務、財務等の業務処理において、意思決定システムの整備と権限の明確化	・組織体制を明確にし、各種会議・委員会で議論し、学校運営会議で確定。 ・財務は規則を備え、決裁による意思決定を実施。
	情報システム	11 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	学生への情報提供システム／タイムリーな情報提供／システム管理の実施	・パソコンの更新、Wi-Fi環境の整備、校内ネットワークの再構築を実施。 ・4年度からタブレット端末への電子教科書の導入。
Ⅲ 教育活動	目標の設定	12 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育課程の編成方針、実施方針の明文化	・4年度から新カリを運用。 ・看護専門職と看護教育の考え方を明文化 ・教育課程の編成方針、実施方針をカリキュラムポリシーとして明文化。
		13 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学科毎の教育到達レベルの明示／資格取得への指導・支援体制	・教育目標を学習要綱に明示し、シラバスに教育目標と学科目との関連を明示。 ・学年目標を学生便覧に示し、学年の中間、終了時に評価を実施。
	教育方法・評価等	14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育課程編成体制、編成過程の明確化／専門科目、一般科目の適正配分／授業時間・単位数の明確化／授業科目の目標にあった授業内容、方法、教材の工夫／シラバスの作成、見直し	・規則、ガイドラインに沿ってカリキュラムを編成し、科目毎に到達目標、授業時間、単位、学習内容、学習方法を明示。 ・新旧カリキュラム混在のなか、適切に運営できるように管理を実施。 ・各講義、演習、実習開始時にシラバス等を用いてオリエンテーションを実施。 ・コロナ禍で96%の臨地実習を実施。オンライン授業も実施したが、看護技術演習も予定通り実施。
		15 教育課程について外部の意見を反映しているか	教育課程の編成、改定における、在校生・卒業生・就職先・関連業界からの意見聴取等	・県看護師等養成機関連絡会や日本看護学校協議会での情報収集。 ・卒業生時調査を実施。 ・実習指導者、管理者からの意見徴収の実施。

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容	
	成績評価・単位認定等	16	キャリア教育を実施しているか	方針を定めているか／教育内容・教育方法・教材等の工夫	・キャリア支援講座を1, 2年次に計4回開催。 ・1, 2年次に「ようこそ先輩」を開催。
		17	授業評価を実施しているか	学生へのアンケートの実施及び教育へのフィードバック	・学生による授業評価を年間、基礎分野12回、専門基礎分野26回、専門分野45回実施。授業担当者がフィードバック。
		18	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価の基準の明確化／学生へ基準の明示／基準の客観性の確保	・評価の基準を、学則、規程に明記。 ・会議により単位認定、成績結果を協議。 ・各教科目の評価内容、方法を学習要綱、実習要綱に明示し、授業開始時に学生に説明。
		19	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	学生の技術向上状況の把握	・実習科目で看護技術の経験を把握。 ・統合科目で技術の総合的評価を把握。 ・実習終了後、学内で報告会を実施。 ・専門分野、統合科目の発表会で学習成果を把握。
	資格・免許の取得の指導体制	20	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	国家資格取得への取組	・国家試験合格基準を満たすカリキュラム編成。 ・国家試験対策係が中心に計画を立案し、学年及び個別指導の実施。
		21	資格・免許取得の指導体制はあるか	不合格者及び卒業後の指導	・前年度不合格者に、3学年担任が中心に、個別のフォローアップを実施。
	教員・教員組織	22	資格・要件を備えた教員を確保しているか	教員の能力・資質・資格の明確化／教員のレベルの適合性／人材確保の関連業界との連携／教員の採用計画・配置計画／教員一人当たりの授業時間・学生数の把握	・教員配置数は、県の指導により、配置基準を超えた人数を配置。4年度の中途退職者については、非常勤教員にて対応。 ・全員資格取得及び研修修了者。 ・採用について就業規則に規定。
		23	教員の資質向上への取組を行っているか	教員の専門性、教授力の把握・評価／研修、研究への取組／自己啓発等のキャリア開発	・学会・研修会へは学校経費で参加。 ・4年度は、日本災害医学会1件、日本看護学校協議会2件の実践報告を実施。 ・キャリアラダーを活用したMBOを実施。
		24	教員の組織体制を整備しているか	分野ごとの教員体制の確保／学科毎の教員間の連携・協力体制／改善の組織的な取組	・組織体制のもと、業務分掌に基づき業務を分担。 ・5年度に向けて組織体制の見直しを検討。
	IV学修成果	就職率	25	就職率の向上が図られているか	就職率の目標設定／就職率等のデータ管理
	資格・免許の取得率	26	資格・免許取得率の向上が図られているか	国家資格取得の目標設定／合格実績・全国水準との比較	・国家資格取得率は100%を目標。 ・4年度の卒業生は、98.7%の合格率で全国平均を上回る。
	卒業生の社会的評価	27	卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業後の実態把握	・卒業後3年間の動向調査を毎年実施。1年以内の離職率は11.1%。 ・「卒業生の実態調査を3～5年ごとに実施。
V学生支援	就職等進路	28	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	組織的就職支援体制の整備／就職状況の学内共有／関連業界との連携／就職説明会や相談の実施	・進路ガイダンスの実施。 ・病院・就職情報等の掲示。 ・会員病院の就職情報冊子の配付。「情報シート」の作成、配付。病院説明会の開催。 ・キャリア支援講座の実施。就職活動状況の把握と個別相談対応。
	中途退学への対応	29	退学率の低減が図られているか	退学者数の把握／指導過程記録の保管／指導・相談の実施	・退学率は、約1%。 ・保護者も含む、個別の相談対応。
	学生相談	30	学生相談に関する体制を整備しているか	専任カウンセラーの配置／相談室の設置／学生への周知／相談記録の保管	・専用の相談室を設置。学校カウンセラーを配置し、相談を実施。 ・カウンセリング便りの掲示、配信。
		31	留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生への相談対象教員の配置／留学生への相談・指導・記録の管理	
	学生生活	32	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学校独自の奨学金／学費の減免・分割納付制度／支援制度の学生、保護者への周知	・本校独自の奨学金制度あり。(横浜市病院協会奨学金・修学生生活資金制度) ・高等教育の修学支援新制度認定校。 ・他奨学制度についても対応。 ・専門実践教育訓練校として指定。
		33	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健計画の策定／学校医の専任／健診の実施／心身健康相談の専任職員の配置	・年間計画に基づく、定期健康診断の実施。 ・感染症対策の実施。ワクチン接種や抗体価検査の実施。
		34	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	学生寮の確保／ニーズの把握	・横浜市病院協会奨学金への当該病院寮の利用。 ・横浜市立脳卒中・神経脊髄センター職員宿舎が利用可能。
		35	課外活動に対する支援体制を整備しているか	クラブ活動等の団体の活動状況の把握	・新入生歓迎の自治会主催交流会開催。 ・ボランティア部を除き、茶道部、バトミントン部、フットサル部が顧問の指導のもと活動。(4年度はコロナ禍のため活動中止)

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
(V) 学生支援	保護者との連携	36 保護者との連携体制を構築しているか	保護者会の開催及び情報提供／緊急時の連絡体制の確保	・学校後援会を組織し、保護者との連携、協力を実施。 ・保護者会開催及び個別相談の実施。(2年度はコロナ禍のため活動中止) ・緊急時連絡は、学生カード、連絡先一覧表、GoogleClassroomで管理。
	卒業生・社会人	37 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会の組織化／再就職、卒後のキャリアアップの相談・支援	・同窓会活動を実施。 ・GoogleClassroomによる卒業生との連絡ルートの確保。 ・毎年特別講演を同窓会と協賛で開催。
		38 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	再教育プログラムの共同開発	
		39 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人経験者への入学時、在学中への配慮	・社会人に向けた特別入試を実施。 ・専門実践教育訓練校として指定。
VI 教育環境	施設・設備等	40 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設、設備、機器等の適法性と充実度／図書室、実習室の整備／休憩室等の確保／バリアフリー対応	・設置基準に適合して整備。4年度にWi-Fi環境の整備。 ・大規模な設備改修等工事(空調、ボイラー、交流室等)を4年度より実施。 ・図書は、予算を確保し、毎年希望調査を行い配架。 ・情報科学室のPCは、2023年度に更新。 ・基本的にバリアフリー対応で整備。
	学外実習・インターンシップ等	41 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習の位置づけの明確化／実習指導機関の指導者との連携	・学外実習は教育計画に基づいて実施。 ・実習機関と連絡・協議の機会を確保。 ・インターンシップ、オンライン説明会等の情報提供。
	防災・安全管理	42 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	防災の組織化及び訓練の実施／消防設備及び保守点検の適法性	・設備及び訓練の実施等により適法。 ・防災の組織化、マニュアルの整備、防災用備品、備蓄の確保、保管。 ・災害援助ベンダー(自販機)の設置。
		43 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学校安全計画の策定／学習時の安全対策マニュアル等の作成及び運用	・看護学生補償制度「Will」に加入。
VII 学生の募集と受入れ	学生募集活動	44 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	高等学校等への情報提供及び入学説明会の実施／学校案内の作成及び周知	・「学校案内」「学生募集要項」を作成し、学校説明会及び学校訪問を実施。 ・4年度に、携帯用HPを作成して配信。
		45 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	募集活動の実施／志望者等からの相談対応／オープンキャンパスの実施／入試の適正な時期での実施	・オープンキャンパス・学校説明会(2回)、学校説明会(5回)、オンライン説明会(3回)の開催。 ・学校訪問(24校)の実施。 ・ハローワーク、ひとり親支援窓口等に募集要項を配置。
	入学選考	46 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準の規定等での明確化／入学選考の公正性を確保する体制の整備	・構造化面接と面接時間を併用し、意志、意欲、学習状況を把握。 ・選考は、入試委員会により実施。
		47 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	応募者、受験者、合格者、辞退者等のデータの蓄積／入学者予測数値の算出	・合格率、辞退率等を分析し、試験の実施内容に反映。 ・毎年、入学者予想を算出。
	学納金	48 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金の算定内容と決定過程の明確化／水準の把握	・学納金は、公表し、設立経過から安価。 ・事業報告、決算報告を協会ホームページにて公表。
		49 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか	入学辞退者への授業料の返還及び募集要項等への明示	・入学金について、返納しない旨を募集要項に記載。
VIII 財務	財務基盤	50 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	収支バランス／マイナスの場合の原因把握と解消の計画の策定	・公的補助による運営。 ・入学者数は定員数を確保。
		51 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	過去3年間の財務分析の実施／教育研究比率、人件費率の分析／適切なコスト管理	・予算、決算については、過去の財務状況との比較資料を作成。 ・令和元年度、借入金の完済。
	予算・収支計画	52 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	予算編成と事業計画等との整合性	・毎年度、事業計画とともに予算を編成。

大項目	中項目	小項目(指標)	チェック項目(抜粋)	本校が実施している内容
		53 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	予算執行計画の策定／予算と決算の整合性／予算規程、経理規程の整備	・会計規則により適正に運用。
	監査	54 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか	監査の実施及び理事会への報告／監査法人による外部監査の実施	・毎年度、法人、横浜市による監査の実施。 ・法人会計指導を会計法人に委託。
	財務情報の公開	55 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務公開規程の整備／財務帳票、事業報告書の作成、公開	・協会ホームページにて事業報告、決算報告を公開。
区法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守	56 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	適法な設置及び学校運営／規則、規程の整備／セクシャルハラスメント防止対策の実施／コンプライアンスの相談体制の整備	・学校運営のため学則及び規程を整備し、必要に応じて改正を実施。 ・令和2年1月改正の就業規則第21条にハラスメントを、第12章に内部通報者の保護等を規定。
	個人情報保護	57 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護の規定の作成及び運用／個人情報漏えい防止策の実施	・令和2年1月改正の就業規則第17・18条に「個人情報保護規定」を制定。
	学校評価	58 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	関連する規程等の整備／自己評価の定期的全学での取組／結果を踏まえた学校改善への取組	・学校評価委員会に関する規程・実施要綱を平成28年度に制定。 ・平成16～18年に、委員会発足、アンケート実施、報告書2回発行。 ・学校関係者評価委員会を令和2年度から開催。
		59 自己評価結果を公表しているか	報告書の作成／ホームページ等での公表	・学校評価報告書(平成25・29年)を作成。 ・学校関係者評価委員会報告書をHPで公表。
		60 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価の規定等の整備／組織化／委員の適切選任	・校内での会議とともに、外部委員を含めた学校関係者評価委員会を開催。
		61 学校関係者評価結果を公表しているか	評価結果の取りまとめ／ホームページ等での公表	・外部委員を含めた学校関係者評価委員会の報告書を作成し、ホームページで公表。
	教育情報の公開	62 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報公開	・「学校案内」「学生募集要項」「年報」を作成し公開。学校説明会及び学校訪問等で活用。 ・4年度に、携帯用HPを作成して配信。
Ⅹ社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献	63 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	産・学・行政・地域等との連携／学校資源の提供／地域への講座等の実施	・令和2年度区社会福祉協議会に加入し、区内活動団体との連携を強化。 ・港南福祉保健センターの新型コロナウイルス感染症対策を学生が支援。
		64 国際交流に取組んでいるか	国際交流推進に関する方針の策定／海外教育機関との交流／留学生の受入	
	ボランティア活動	65 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	ボランティア活動等の社会活動の推進／ボランティア活動等の把握、学内での共有	・実習病院の防災訓練に参加。 ・区役所、社協、福祉施設等の事業にボランティアとして学生が参加。

令和5年度 第2回学校関係者評価委員会（外部委員）次第

日時：令和6年2月8日(木) 14時～

場所：4階会議室

1 あいさつ

2 議 事

(1) 第1回委員会記録メモの確認について・・・・・・・・・・資料1

(2) 令和5年度報告書について・・・・・・・・・・資料2

(3) 意見交換等

3 報 告

(1) 令和6年度入学者の入学試験状況について・・・・・・・・・・資料3

4 その他